

やすサミ



議会だより

第172号

2023.2



体育初め

令和4年12月定例会

町長行政報告	2
一般質問 1氏が問う	6
条例制定	7
令和4年度補正予算	8
議員提出意見書	8

令和4年11月臨時会

令和4年度補正予算	9
-----------------	---

12月7日開会。条例制定、令和4年度補正予算、議員提出意見書、10議案を審議、1氏が一般質問を行い、9日に閉会した。

行政報告(概要)



黒岩町長

新型コロナウイルス感染症への対応

原油・肥料価格等の高騰を受けている事業者に対する支援として、肥料・飼料価格高騰対策支援分として施設園芸及び畜産農家141人に対し支援を行うとともに、物価高騰対策支援分として、農業者215人、個人事業者70人、法人等事業者26社に対し支援を行っている。

「がんばるやすだ応援券」

配布事業については、発行額に対する使用率は97・4%、2401万2千円が使用されており、各世帯や町内事業者の支援、地域経済の振興に一定の効果があったと考えている。

新型コロナウイルスの本町の接種状況については、4回目の追加接種については、文化センターでの集団接種をこれまで4回実施しており、10月下旬に実施した集団接種からオミクロン株BA・5に対応したワクチンを使用している。

今後、文化センターでの集団接種は12月から来年2月までに4回計画しており、円滑に接種が進むよう中芸広域連合や関係機関と連携して、オミクロン株対応ワクチンの早期接種を呼び掛けていく。

町営事業の進捗状況

◆各種事業の進捗状況◆

令和3年度からの繰越事業12件のうち、安田小学校バリアフリー改修工事、農業用施設災害復旧工事などの6件については既に完成しているが、残る事業についても年度内完成に向けて精力的に取り組を進めている。

本年度実施の主要事業の推進については、安田簡易水道施設整備事業、町道東谷寺山線道路改良工事等をはじめとする各種の社会基盤整備事業や、地方創生臨時交付金を活用した高齢者福祉センター空調改修工事、西島地区合同水路改修工事及び東島農道改良工事等の農地耕作条件改善事業など事業の早期実施に努めている。

11月末現在の町営事業の土木工事発注状況については、発注済みのものが18件1億6337万9千円で、これから

発注するものとして、町道正弘線(正弘橋)橋梁保全工事やため池廃止工事などを含めて、7件8050万円を予定しており、事業費全体で、25件2億4687万9千円となり、それぞれの工事において管理監督には十分留意をし、年度末に向けて事業の早期完了を図ることとしている。

◆地域公共交通◆

コミュニティバス「やすら号」の4月から11月までの運行状況は、路線定期運行は、東谷線が136便517人、東島線が140便625人となっており、引き続き堅調な利用があらわれている。

路線定期運行においては、より利便性を高めるために10月から東谷線、東島線ともに全面的に運行時刻を見直しており、利用者からは「ゆっくり買い物ができるようになってありがたい」といった声をいただいている。

また、デマンド運行では、利用者の少ない中里線について、引き続き地域への運行周

知や利用環境の改善に向けた意見交換等を行っていく。

路線バスの定額利用サービス「らく賃おでかけデスカ」については、継続的に利用をしていただいている方もいるが、新たな利用者開拓に向け、高知東部交通や株式会社「ですか」と連携し、バスの乗り方教室を今年是不動・唐浜地区で開催し、さらなる利用促進に努めることとしている。

◆ふるさと納税◆

11月までに、件数で2394件、寄附金額で24453万1千円の申し込みがあつていく。

また、制度の適用について国に申出書を提出し、本年10月1日から令和5年9月末までの1年間、対象団体として指定を受けている。

本年度は、11月末現在、前年度比で24・1%減の状況であるが、引き続き町の貴重な自主財源の獲得、生産者等の所得向上による地域経済の振興、返礼品を通じた町のファンづくりを基本姿勢に取り組

んでいきたいと考えている。

◆安田のファンづくり事業◆

町イメージキャラクター安田朗を通じたイベント等については、東京都の平井商店街での物販等のほか、東京映画社のサテライトオフィスのある神奈川県鎌倉市の新興住宅地で町のPRと物産販売を行い、地元商店街の方や地域の方からは本町の新鮮な野菜や果物等の評判もよく、即完売する状況であった。

今後においても、県内外の

イベント等への参加により、町特産品の販売やPRによる町のファンづくりに努めている。

◆移住・定住促進対策◆

移住者の受け入れに必要な空き家のストックを充実させるため、改修に係る支援事業等を継続実施しているほか、空き家の中間保有事業については、これまでに整備した不動産・西島・船倉地区の3軒の住宅に加え、現在、西北地区において、1軒の改修工事を

行っている。

移住促進住宅については、単身向け居室2室が空室となっており、空室の解消に向けて現在公募を行っている。

サザンヒルズ桜坂分譲団地の残地となっていた1区画について、10月に公募を実施し2件の応募があり、公開抽選の結果、町内在住の方に決定している。

◆集落活動センターの活動◆

「多目的交流センターなかやま」を活動拠点として、施設の管理とあわせて、既存事業の継続はもとより、新しい事業計画の策定に向けた取り組みを進めている。

集落活動センターの活動を見える形にすることを目的に、ふるさと応援隊が10月から中山地区の全戸を訪問し、農村型地域運営組織（農村RMO）を見据えた取り組みとして、集落の困りごと、今後の農地の管理・経営状況や集落活動センターへの要望等、地域の住民の想いを知るための聞き取り調査を行っている。

る。12月中には調査の結果をとりまとめ、地域の想いを形にするための事業計画の策定と、事業実施に向けた検討を行っていることとしている。

「地域密着型看護小規模多機能施設」については、現在、通所サービスの利用者が増加してきており、認知症の方や高齢者の方が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるためのサポートや、地域住民が交流できる施設として多くの方に利用していただけるよう、町としてバックアップしていききたいと考えている。

◆安田川分水問題◆

11月18日に安田川分水対策連絡協議会を開催し、安田川分水に関する諸対策事業の実績及び令和5年度からの次期5カ年の諸対策事業計画について協議を行い、諸対策事業を実施する上で、県・電源開発に対し安田川分水への考え方について、今一度原点に立ち返り、水の復元対策に取り組むことを強く要請を行った。

流水の復元に直接資する事業にかかる電源開発の応分の負担については、安田地区簡易水道整備事業及び西島地区ゲート設置工事等にかかる令和4年度事業の町負担分の2分の1の3114万3千円を事業費確定後の令和5年度に支払う旨の確認を取っている。

◆農業振興対策◆

農家の経営に直結することから、関係機関と連携し、本年度の計画事業である農家所得の向上・後継者対策や農地等の利用の最適化対策等を鋭意推進していくこととしている。

県においては、さまざまなデータを収集することで、安定的な品質・収量を確保していくことを目的に、IOPクラウドシステムを本年9月から本格運用しており、本町においても、先日、安芸農業振興センターを招き、勉強会を開催したところであり、関係機関と連携して、農業者の所得向上を図っていく。



神奈川県鎌倉市で安田町をPR

◆安田川アユおどる清流キャンプ場◆

ゴールデンウィークや8月の繁忙期に天候に恵まれたこともあり、10月までに1818組、5819人の利用があり、年度間では、昨年度を上回る利用実績が見込まれている。

◆高規格道路整備等◆

本年度新規事業化となった、阿南安芸自動車道「安田〜安芸間」の状況については、



ドローンを活用した航空レーザー測量

9月に測量立ち入りの説明会を開催し、地権者339人中、263人に立ち入りの了承をいただき、残る方についても相統調査等を順次行い、その対応を進めている。なお、測量業務については、12月19日からドローンを活用した航空レーザー測量に着手する計画である。

未事業化区間である「奈半利〜安田間」についても、早期事業化に向け、関係機関と連携して取り組みを行ってお

り、11月には四国地方整備局や国土交通省、地元選出国会議員等への要望活動を実施した。

教育行政の状況

◆学校教育◆

幼児、学校教育では、安田さくら園の運動会や安田中学校体育大会は、応援者数を一定制限する中で開催となったが、保護者等の声援を受け元気いっぱいスポーツの秋を満喫した。10月には、小学5年生の室戸での宿泊研修並びに、小学6年生の広島・香川県への2泊3日の修学旅行を計画どおり実施し、平和学習や集団行動を学んでいる。地域学習の一環として取り組んでいるふるさと学習餅米づくりでは、自分たちで植えた苗を鎌で収穫し、11月に食生活改善推進協議会の指導のもと郷土料理づくり体験と試食会を行い、食育学習を深めている。

また、中学校では参観週間の中で、校内学習発表会の日を設け、総合学習で学んだことの発表や、3年生によるキャリア教育として職場体験で学び、感じたことを一人一人が発表するなど、地域に開かれた学校づくりに努めている。

◆社会教育◆

新型コロナウイルスの感染予防対策に最大限配慮しながら、各種文化教室、出前講座の実施、安田まちなみ交流館の開館など、その対応に努めている。

3年ぶりに開催となった「生涯いきいき学習講座」は3回開催し、町内外から延べ286人の参加があった。恒例となった寧浦全国色紙展は、今回も田野町、北川村の書道展等と合同で実施し、昨年より29点多い319点の応募出品があり、好評を博した。なお、「新年体育初め」と「二十歳を祝う会」は、感染予防対策を徹底して実施する。

安田まちなみ交流館「和」の企画展では、7月2日から



安田小 郷土料理作り

開催していた「和歌（うた）で結ばれた順蔵と龍馬」展が10月30日で終了し、延べ523人が観覧している。現在は「学制150年」関連企画展として「やすだの学校く寺子屋から学校へ」展を来年の3月12日まで開催中で、11月19日には関連イベントとして「美術の時間と給食の時間く干支文字ハンコや絵手紙を作り、給食を味わう」を開催している。

開かれた町政運営

町長室の開放、中山支所での執務では、11月までの8カ月で延べ21人と2団体の訪問があり、住民の方々からさまざまな意見を聞くことができていた。あわせて、平日の仕事などで訪問できない方々にも訪問いただけるよう、日曜日も開催をしている。

◆対話と協働◆

3カ月に1回のペースで本部会を開催し、各班から活動報告を行い、各地区での取り組みや地域の課題、困りごと等について職員と特別職との情報共有を図り、地域の抱える課題の解決に向けて職員とともに取り組んでいく。

◆マイナンバーカードの交付◆

国は令和4年度末までに、ほぼ全ての国民に行き渡ることとを目標に掲げ、マイナポイント事業等による普及促進に取り組んでいるが、本年10月末時点でのカード交付率は51%にとどまっている。

このため国は、令和6年秋ごろに現行の保険証を廃止しマイナナンバーカードと一体化させることや免許証との一体化も検討されるほか、マイナナンバーカードの取得率によって各市町村へ配分する交付金の受給申請に制限をかけることが検討されるなど、カードの取得に向けてさらに加速させる取り組みが示されている。

高知県全体における10月末時点の交付率は44%、本町は30・6%、県内で最も低い状況であり、このため本町では、取得率向上対策に取り組むこととし、11月から土・日・祝日を利用して、配置職員が地域に出向きマイナンバーカードの申請手続きの支援を行っている。11月は10カ所出張申請を実施し、408人の申請を受け付け、申請率は先月

これから16%増の55・8%まで急伸し、着実にその成果が表れている。

今後においても、各地域へ出張申請に出向くほか、各種団体への声がけや平日の窓口時間の延長、休日窓口の開設など、町民の方々にカードの申請や受け取りがしやすい環境を整え、さらなる交付率の向上に努めていく。

[illegible]

こんなときあってよかったマイナンバーカード

一般質問

こころが知りたい

Q 認知症進行抑制に補聴器購入支援を

A 日常生活での高齢者の認知症リスクの要因を総合的に判断し、検討していく



内川議員

問 聴覚は日常生活に関するさまざまな認知機能と関係していて、国の研究でも難聴があると認知症の度合いが高い傾向が知られていて、早いうちからの補聴器の使用が認知症発症のリスクを減らすと報告されている。

現在、補聴器の購入には障害者総合支援法に定められた補装具費支給制度によ

り、高度、重度難聴の身体障害者手帳をお持ちの方には購入費用の一部が支給されているが、それ以外の方は全額自己負担となっている。

本町では、各集会所を拠点にあつたかふれあいセンター事業等を開催しているが、耳が遠くなつて音が聞こえにくくなつた方には、会話の中で相手の話が十分に理解できず、外出するのが嫌になり、社会的孤立を招き結果として、認知症発症の要因の一つにもなっている。

平均余命が大きく延びた今、一人でも多くの方が生きがいを持って暮らしてい

けるまちづくりを進めていくうえでも、補聴器の購入について、負担軽減拡充を図る支援ができないか。



小島町民生活課長

答 認知症の発症はさまざまな要因があり、難聴もその一つであるといわれている。

現在のところ、補聴器購入の公費補助は、身体障害者手帳を持つ聴覚障害者の方に対し、障害者総合支援法に基づき補装具費として一部助成がある。加齢性難聴に対するものは、令和4年5月1日時点で、全国で73の市区町村が独自の補助制度を実施しているが、高知県内で実施している市町村はない。

加齢性難聴の方々に広く補聴器が普及することは、高齢になっても生活の質を落とさ



楽しくおしゃべり（あつたか大交流会・平成24年）

ず、心身ともに健やかに過ごすことができ、認知症の予防、健康寿命の延伸につながると認識しているが、日常生活の質に及ぼす影響は、聴力のみならず視力や筋力など多く存在する。それぞれを補うための補装具や器具等もたくさん

あり、生活の質等を確保するための支援については、特定分野のみならず総合的に判断していく必要があることから、国、県に対し要望していきたい。

条例制定

適用する。

審議結果…3件とも全員賛成

(可決)

- ◆職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定◆
- ◆町長等の給与等に関する条例の一部を改正する条例制定◆
- ◆議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例制定◆

内容

人事院勧告に基づく国家公務員の給与と改定状況を踏まえ、民間給与との較差を埋めるため若年層に重点を置いた給料表の改正と勤勉手当の支給月数を0・1カ月分引き上げ、年間支給月数を4・4カ月分とするもの。

また、特別職及び議会議員の期末手当の支給月数を0・05カ月分引き上げ、年間支給月数を3・1カ月分とするもの。

なお、改正の実施時期は、職員の給料表については令和4年4月1日、期末勤勉手当については12月1日に遡及し

- ◆職員の定年等に関する条例等の一部を改正する等の条例制定◆

内容

上位法の改正により令和5年度から、地方公務員の定年年齢の段階的な引き上げや、役職定年制度等が導入されるため、必要な条例改正をするもの。

内容は、令和5年度から現行の定年年齢60歳を2年に1歳ずつ段階的に引き上げ、令和13年度以降は65歳とするもの。また、管理監督職務上限年齢を原則60歳とし、職務の特殊性により欠員補充が困難な場合は、引き続き最大3年まで延長することができるもの。

質疑

問 60歳に到達した者の給与は、その時点の等級に相当

する額の70%が支給されるとなっているが、給料表の改定がない限り昇給延伸となるかどうか。

答 給料はその時点の等級に対しての70%相当額となり、給料表の改定があればそれぞれ引き上げ・引き下げられた後の金額に対して70%支給されることとなる。

審議結果…全員賛成(可決)

- ◆一般職の任期付職員の採用等に関する条例制定◆

内容

地方公共団体の一般職の任期付職員の採用に関する法律の規定に基づき、新たに一般職の任期付職員の採用等に関する条例を制定するもので、令和5年度に日本遺産の認定再審査を受けるなどの、専門的かつ一時的な業務量の増加が見込まれることから、これらの対応を図ろうとするもの。

審議結果…全員賛成(可決)

- ◆安田町議会議員及び安田町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例制定◆

内容

公職選挙法の一部改正に伴い、安田町議会議員及び安田町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例を制定するもので、選挙運動用の自動車の使用、ビラ及びポスターの作成に係る経費の公費負担等について定めるもの。

質疑

問 どのような方法でこの制度の周知徹底を図っていくのか。

答 これまでの選挙制度と大きく対応が異なることから、町の広報紙等や選挙の立候補者説明会において周知していく。

審議結果…全員賛成(可決)

議会を傍聴してみませんか

議会は公開が原則です

皆さんお気軽においでください

* 次回の定例会は、3月上旬にひらかれます。

補正予算

総額390万円減額

◆令和4年度町一般会計及び特別2会計(国保・簡水)

補正予算◆

補正後の予算総額

32億9020万円

内容

本年度事業に係る追加、減額措置を行うもの。

補正の主な内容は、

◎一般会計(第5号)

○職員の人件費の減額

3613万円

○生活バス路線運行維持費補助金の追加

851万円

○住民税非課税世帯等臨時特別給付金の減額

490万円

○簡水事業特別会計繰出金の追加

253万円

○園・小中学校の消防設備の修繕料及び備品購入費等の追加

249万円

○基金への積立金の追加

2269万円

など

◎国保会計(第2号)

○一般被保険者療養給付費の追加

3768万円

○一般被保険者高額療養費の追加

1551万円

総額5319万円追加

補正後の予算総額

4億9629万円

◎簡水会計(第2号)

○光熱水費の追加

111万円
など

総額115万円追加

補正後の予算総額

2億3255万円

質疑

問 東部交通への赤字補助の本町の負担率はこの程度か。

答 東部交通が運行する5路線のうち、2路線に補助を

している。運行距離に応じた負担割合となっており、安芸・室戸線で7%程度、安芸・馬路線で6割ほどとなる。その合計金額が851万1千円となっている。

他の市町村とも連携して、



町内を走る路線バス

らく賃おでかけデスカを含めた町民の負担軽減に努めていく。

問 国保会計で、一般被保険者療養給付費と高額療養費の補正が予算の15%を超える

高額となっている。今後一般会計からの法定外繰り入れが必要となるのではないか。

答 今回の補正の財源はすべて県の支出金を充てることとなっている。

今後は、基盤安定負担金が国・県から交付される。その額が決定してから赤字繰り入れを検討することとなる。

審議結果…3件とも全員賛成

(可決)

意見書

◆子どものために保育士配置基準の引き上げによる保育士増員を求める意見書◆

コロナ禍で保育所の重要性は広く社会に認識されるよう

になったが、感染対策を徹底しながら、子どもの発達を保障し、子育て家庭を支えるには、現在の配置基準は不十分であり、子どもの命と安全を守るためにも保育士増員が急務となっている。

小学校では、コロナ禍を受けて全学年での少人数学級化が順次実施されており、2021年度『学校基本調査』によれば、公立小学校の学級あたりの平均児童数はすでに22・7人になっている。一方で、小学生よりも幼い乳幼児が長時間生活する保育所等の4・5歳児の配置基準（子ども30人に保育士1人）が、基準制定以来70年以上一度も見直されていないことは、由々しき事態と言わざるを得ない。

国は2023年4月に「子ども家庭庁」を創設して、これまで以上に子ども関連施策の充実・推進をめざし、予算も倍増するとしている。それならば、いまこそ保育関係予算を大幅に増やし、保育士配置基準の引き上げによる保育士増員、処遇の改善を国の責

任で進めるべきである。

よって、国におかれては、必要な財源を確保し、下記の事項について実現されるよう、強く要望する。

1. 子どものために保育士配置基準の引き上げによる保育士増員を図ること。
2. 公定価格を引き上げ、保育士等の処遇改善を図ること。

提出先

内閣総理大臣ほか

審議結果…全員賛成（可決）

第6回臨時会

令和4年11月10日開会、一般会計補正予算を審議し、同日閉会した。

補正予算

◆令和4年度町一般会計補正予算（第4号）◆

内容

その執行に緊急を要する必要が生じた事項について追加の措置を講じるもの。

補正の主な内容は

○電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金の追加

2600万円

○社会福祉施設等物価高騰緊急支援給付金の追加

1222万円

○園・小中学校の空調設備改修工事の追加

836万円

など

総額4410万円追加

補正後の予算総額

32億9410万円

審議結果…全員賛成（可決）

表彰

このたび、上総博議員が、町村議会議員5期、20年の永きにわたり、地方自治の振興発展にご尽力された功績に対し、四国地区町村議会議長会より自治功労者表彰が贈られました。



上総博議員

—：議長

議 案 名	内 川 一 則	中 島 瑞 夫	小 松 延 茂	豊 永 土 佐 太 郎	佐 竹 正 利	黒 岩 円	田 之 上 健 太	太 田 賢 三	上 総 博	小 松 憲 次	可 否
職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	—	可決
町長等の給与等に関する条例の一部を改正する条例制定	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	—	可決
議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例制定	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	—	可決
職員の定年等に関する条例等の一部を改正する等の条例制定	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	—	可決
一般職の任期付職員の採用等に関する条例制定	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	—	可決
安田町議会議員及び安田町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例制定	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	—	可決
令和４年度町一般会計補正予算（第５号）	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	—	可決
令和４年度町国民健康保険事業特別会計補正予算（第２号）	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	—	可決
令和４年度町簡易水道事業特別会計補正予算（第２号）	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	—	可決
子どものために保育士配置基準の引き上げによる保育士増員を求める意見書の提出	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	—	可決

—：議長

[illegible]

議会のつぎ

29日 議員協議会
30日 中芸広域連合議会全員協議会

10月

24日 議会広報編集委員会

11月

1日 高知県戦没者追悼式

7日 議員協議会

議会運営委員会

8日 安芸郡町村議会議長会陳情活動

県選出国会議員と町村議会議長との意見交換会

(東京都)

9日 第66回町村議会議長全国大会

(東京都)

11日 第74回関東高知県人大懇親会

(東京都)

15日 町戦没者等追悼式

(高知市)

18日 第32回安田川分水連絡協議会

(高知市)

24日 総務教育常任委員会

(高知市)

25日 産業厚生常任委員会

(高知市)

26日 第29回寧浦全国色紙展開会

(高知市)

式・表彰式

28日 主要地方道安田東洋・魚梁瀬公園線整備促進期成同盟

会高知県土木部長への要望活動

12月

1日 第3回安芸広域市町村圏事務組合議会定例会

(安芸市)

2日 議会運営委員会

9日 議会広報編集委員会

21日 第4回中芸広域連合議会定例会

(北川村)

23日 安芸郡町村議会議長会臨時総会

(北川村)

26日 第3回安芸広域市町村圏特別養護老人ホーム組合議会定例会

(奈半利町)

1月

3日 二十歳を祝う会

6日 議会広報編集委員会

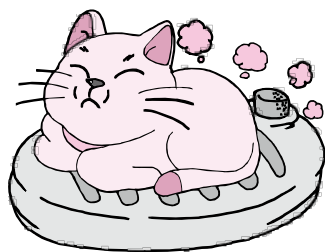
8日 安田町火鎮祭

13日 議員協議会

19日 議会広報編集委員会

中芸地区町村長・議長及び商工会正副会長意見交換会

(田野町)



編集後記

旬の歳時記(今昔)

初詣、初日の出、初夢、書き初めなど一月には「初」というキーワードがいくつもある。農業の仕事始めにあたる「くわ初め」もその一つである。

田畑の神を祭る正月行事で、五穀豊穡や一年間の農作業等でのけががないようにと家内安全を願う、松飾りにお酒、お米等と、クワやカマ等の農具をともにお供えした。

かつては、新年を迎えた農家のあちらこちらで見られた風景で、

記憶にはあるが、今はほとんど見かけることがない。

四季折々の営みで彩られるそうした昔からの日常の風景は、新時代とともに忘れ去られて寂しいかぎりである。

こうした昔からの神事や地域の風習など、だんだんと、インターネットの中でしか見られないものになるのだろうか。

春の節分に行われる豆まき。豆や鬼や子どもたちのはしゃぎ声がいっまでも聞こえることを願う。

(編集委員 中島)

議会広報発行人

議長 小松 憲次

議会広報編集委員会

委員長 田之上 健太
副委員長 内川 一則
委員 豊永土佐太郎
委員 黒岩 円
委員 中島 瑞夫

各常任委員会の所管事項調査

総務教育・産業厚生両常任委員会は、このほど所管事項調査を行い、その結果を次のとおり議長に報告した。

総務教育常任委員会

開催日 令和4年11月24日

調査事項

①令和4年度総務課・地域創生課・教育委員会的主要事業実施状況について

②その他

総務課、地域創生課、教育委員会から資料に基づき説明を受け、協議の結果、次のとおりまとめを行った。

調査結果

◎田園回帰など社会の変化をとらえながら移住定住施策のあり方を再検証し、主要施策の一つである移住促進住宅の早期空室解消と魅力ある定住対策の検討を望む。



総務教育常任委員会

◎職員の人員不足対策として、効果的な業務省力化など具体的な検討を進めるとともに、適正な人材の確保に努め、安定した執行体制を整えられるようにすること。

◎日本遺産継続認定について、中芸各町村の当事者意識と同じ課題に向かう一体感の醸成が求められる。日本遺産推進室においては、継続認定に向けてのリーダーシップを意識した取り組み強化を望む。

調査結果

◎漁港の管理運営について、漁港の機能が十分果たされるよう今後もできる指導支援を継続されること。

産業厚生常任委員会

開催日 令和4年11月25日

調査事項

①令和4年度経済建設課・町民生活課の主要事業実施状況について

②その他

経過

経済建設課、町民生活課から資料に基づき説明を受け、協議の結果、次のとおりまとめを行った。



産業厚生常任委員会